

令和7年度 こだいら認知症週間講演会

認知症になっても、 希望を持って暮らせる！

～本人の声を聴き、自分らしく、ともに～

若年性認知症と診断された当事者の方々のトークセッションです。
ご本人たちから、認知症と診断された時の気持ち、普段の生活の様子、
今後どう暮らしていきたいか、地域の皆さんへ伝えたいこと等について
お話いただきます。
本人の声を聴き、いきいきと暮らしていける地域とはどんなところか、
何が必要なのか、皆さんも一緒に考えてみましょう。

11月22日(土) 午後2時～4時
場所 中央公民館 ホール



登壇者：

藤島岳彦さん

2023 年3月に若年性アルツハイマー型認知症と診断されるも、持ち前のポジティブ思考で、現在は週 20 時間以上の仕事とボランティア活動を精力的にしている傍ら、フルマラソンも完走するなど、充実した生活を送っている。

さとうみきさん

2018 年にテレビドラマを観て、認知症を疑い受診したところ43歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断される。現在はとうきょう認知症希望大使として、各地での講演会、ピアサポートほか、執筆活動などの活動を行っている。

対 象： 市内在住・在勤の方 定員100人

申込み： 10月27日(月) から、電話もしくはQRコードより申込み(先着順)

高齢者支援課 保健・医療・介護連携担当

電話：042-346-9539

